

# カイツック細粒剤F

[ペンディメタリン・リニュロン粉粒剤]

農林水産省登録 第18414号

有効成分 ペンディメタリン…1.5%  
リニュロン…1.0%

性 状 黄色細粒及び微粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）  
RACコード：除草[3][5]

危険物：- 有効年限：3年 包装：3kg×8

## 特長

- 雑草の細胞分裂伸長阻害作用をもつペンディメタリンと光合成阻害作用をもつリニュロンとの混合により、幅広い草種に安定した効果を発揮します。
- 従来の粒剤よりも粒を小さくし見かけ比重を重くしたので、土壌条件、風、散布方法等の影響を受けにくくなっています。
- 有効成分の土壌中での移動が小さいため安定した薬剤処理層を形成し、長期（40～60日）にわたって抑草効果を発揮します。

## 効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤は雑草の発生前～発芽時に有効であるが、雑草の生育が進むと効果が低下するので、使用時期を失しないように散布する。
- 砂質土壌の保水力の小さい畑では使用しない。又、雨が多量に降り続く時や冠水、浸水しやすい畑では薬害のおそれがあるので使用を避ける。
- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいる時に散布する。
- 碎土、整地はていねいに行い、覆土は種子が露出しないようにできるだけていねいに行う。
- はげしい降雨が予想される時には使用を避ける。
- マルチ栽培、トンネル栽培等での使用は薬害を生じるおそれがあるので、避ける。
- とうもろこしに使用する場合、スーパースイート系では薬害を生じることがあるので使用を避ける。
- 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用を避ける。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意事項

- 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数	リニユロンを含む農薬の総使用回数
小麦 (秋播栽培)	一年生雑草	は種直後～ は種後5日 (雑草発生前)	砂壤土～ 埴土	3～5kg /10a	1回	全面土壌散布	北海道	1回	1回
小麦		は種直後 (雑草発生前)		5～6kg /10a			全域 (北海道を除く)		
大麦							全域 (北海道、東北を除く)		
とうもろこし 飼料用とうもろこし		植付後～ 萌芽前 (雑草発生前)	全土壌	4～6kg /10a			北海道		
やまのいも							全域		
にんじん		は種直後 (雑草発生前)	砂壤土～ 壤土	3～5kg /10a			2回以内 (は種直後は 1回以内、に んじん3～5葉 期は1回以内)		
こんにゃく		植付直後 (雑草発生前)	砂壤土～ 埴土	4～6kg /10a					

製品写真



最新の登録内容はこちら

